

人と人をつなぐ



みかわ地域だより 22号

発行日：平成 27 年 3 月 発行元：三川地区公民館

は～るよこい、は～やくこい♪ 心おどる春 待ちコンサート



去る 2 月 15 日(日)、三川地区公民館サークル連絡会の研修の一環として、『春待ちコンサート』が盛大に開催されました。この『春待ちコンサート』は、心を癒す音楽を通して、サークル活動の輪を地域へ広げようと、毎年 2 月中旬の日曜日に実施されています。

今年度は、『荒尾市民楽団 864!』さんをお招きし、吹奏楽の生演奏を披露していただきました。

『荒尾市民楽団 864!』さんは、2011 年 12 月 26 日に、“荒尾市の文化度をもっと上げたい”という思いが募って設立された若く勢いのある楽団です。「864」という名前は、“荒尾市独自の荒尾にしかないものにしたい”という思いを込めて、荒尾市の郵便番号「864」に「やろうよ」をかけてつけられたそうです。

オープニングステージは、同サークル連絡会副会長の富山さんと楽団員 4 人によるフルートアンサンブル。モーツァルトの『アヴェ・ヴェルム・コルプス』と『なごり雪』の 2 曲が演奏され、フルートの優しく澄んだ音色で、会場は優雅な雰囲気になりました。

続いてメインステージは、総勢約 20 人の『荒尾市民楽団 864!』さんによる吹奏楽演奏。まずは、『情熱大陸』で一気に会場を熱気に包み、『演歌メドレー』、『魔女の宅急便』で盛り上げた後、パートごとに 1 曲ずつ演奏しながら楽器の紹介がありました。つづく『ミッキーマウスマーチ』では、楽団員のみなさんがミニマウスになり、観客にタンバリンがいくつか手渡され、楽器をもたない人は手拍子で、楽団員と観客が一体となった全員合奏となりました。そして、幅広い層に愛されているアニメ忍たま乱太郎の『勇気 100%』、子どもたちの間で大流行中のアニメ妖怪ウォッチの『妖怪体操第一』で、子どもたちのハートをわしづかみし、最後の曲となる『ドリフすっこけ大集合!』が終わると、客席からは惜しめない拍手とアンコールの声巻き起こり、それに答えて『ふるさと』が演奏されました。演奏に合わせてみんなで歌を歌い、ここでもまた会場が一体となることができました。歌いながら聴きながら、いろんな思いがよみがえり、涙を流されている人もいました。この日、春待ちコンサート会場のみなさんの心には、一足早く春がおとづれ、とても素敵なひとときとなりました。『荒尾市民楽団 864!』のみなさん、本当にありがとうございました!!



目指せ！世界遺産登録 第 2 弾 80 ちゃん号で



公開生放送

1 月 16 日(金)、NHK のラジオ番組「ここはふるさと旅するラジオ」の 80 ちゃん号が、大牟田市石炭産業科学館にやってきました。そして、駐車場でステージを開いての公開生放送に、近代化遺産を活用したまちづくり協議会の大滝裕久会長（もちろん皆さんご存知のとおり、天領校区まちづくり協議会の会長でもあられます！）が出演されるということで、三川地区公民館からは村上館長が、会場へ応援に駆けつけました！100 人を超える方々が集まり、大いに盛り上がっていたそうです。



まずは、石炭産業科学館の五本松館長が、大牟田市を紹介。続いて、大滝会長が、今年の世界遺産登録を目指している“宮原坑”、“三池炭坑専用鉄道敷跡”、“三池港”の 3 つの遺産について、詳しくかつ分かりやすく話されました。アナウンサーの方も、大滝会長の説明にとっても感心しながら、「この話を聞くと、今すぐにでも世界遺産に登録していいんじゃないかと思う。」とおっしゃっていました!!

そして、観光ガイドのことへと話は移り、駿馬北校区まちづくり協議会の藤村肇会長より、駿馬北小学校 4 年生～6 年生の子どもたちが、炭坑の歴史やガイドについて勉強をし、月に 1 回ボランティアガイドに取り組んでいるという話がありました。最後に、“ふるさとグルメコーナー”で、昨年の 7 月に復活した「洋風かつ丼」を紹介され、盛大な拍手に包まれながら公開生放送は終了しました。今夏の世界遺産登録を目指して、みんなで盛り上げていきましょう!

みなと小 6 年生 “美さと” 訪問

大牟田弁でおもしろか劇ば披露



3 月 9 日(月)、“みなと小学校 笑顔リレー So Happy Project 2014”の活動の一環で、みなと小学校 6 年生 46 人が、介護老人福祉施設“美さと”で笑顔を届けようと、大牟田弁によるペープサート（紙人形劇）『おむすびころりん』と劇『桃太郎』を堂々と披露しました。これらの脚本は、主幹教諭の蓮尾淳先生が、原作を親しみやすくアレンジし、台詞を大牟田弁にして制作。「～くさ、～げな、たまがった～」と子どもたちの口から次々に飛び出す、かわいらしい大牟田弁と、緊張しながらも一生懸命に演じる姿に、みなさん目を細めながら見つめていらっしゃいました。

劇終了後は、『ふるさと』を合唱し、あたたかい歌声のプレゼント。利用者の方々も、静かにうなずきながら一緒に口ずさんでいらっしゃいました。そして最後に、今日の“訪問の記念”にと、子どもたちからのメッセージカードが一人一人に手渡されました。カードを手に「かわいくて、本当によかった。“皆が主役”って、とてもいい考え。お手紙にも泣かされちゃった。」と涙を浮かべていらっしゃいました。これからもたくさんの笑顔をつないでいってください。



笑顔いっぱい 感謝いっぱい 地域魅力アップ支援事業

みなと校区

楽しく笑って 仲間づくり☆幸せづくり

2月7日（土）、浪花北公民館にて三川地区公民館の地域魅力アップ支援事業『楽しく笑って仲間づくり☆幸せづくり』が開催されました。地域みなさんが公民館に集まることにより、隣近所とのつながりや支え合いの大切さを再確認していただくことを目的としています。今回会場となった浪花北公民館は、大牟田市の最南部、有明沿岸道路三池港入口から程近い場所に位置し、住宅街の中の幅1mくらいの細い路地を進んでいくと、60年の歴史を感じさせる立派な館が目に入ります。中は空調設備もしっかり整い、舞台やカラオケ、卓球台も備えてあり、浪花北地域住民の集いの中心であることが伝わってきました。

当日は小雨混じりのあいにくの天気にも関わらず、浪花北にお住まいの皆さんを中心に近隣の浪花南、早米来から46名の参加がありました。講師には、病院や施設、公民館などの訪問活動1300回を達成されたくるめにわか振興会の吉谷忠男さん比佐子さんご夫妻をお迎えし「くるめにわかで笑って心の健康」と題して「地域のつながりの大切さ」や「幸せづくり」を随所の盛り込んだ、軽快なわかを披露していただきました。冒頭から、吉谷さんが『浪花北公民館にはごみが一つもないですね？と荒木館長さんに聞くと、これがこの公民館の誇り（ほこり）たい！と答えられた。』というわかで会場は笑いに包まれ、終始和やかな雰囲気ですすんでいきました。後半は三川地区地域包括支援センター米田直樹氏より、「地域の輪の大切さ」をテーマに、今回のような交流機会が健康増進や防犯、地域の活性化に期待が持てることを話されました。参加された約9割の方から「役に立った」また「久しぶりに友人、知人に会えて話が弾んだ」「大笑いしました。」「楽しかった。また呼んでください」などたくさんのうれしいご意見をいただきました。

講座開催にあたり、浪花北荒木館長様はじめ、皆さんの皆さんにご協力をいただきありがとうございました。今後も町内公民館の活性化や、地域のネットワークづくりにご協力させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

（三川地区公民館 主事 荒木由美）



浪花北公民館の地図



天領校区

～みんな

タイムスリップ～ むかしのくらし体験

2月14日（土）、身も心も澄み渡るような青空の下、あたたかい太陽にも見守られながら、天領小学校で『～みんなタイムスリップ～むかしのくらし体験』がにぎやかに開催されました。この『むかしのくらし体験』は、平成22年度より継続して行われている地域魅力アップ支援事業の一環で、今年度はその名称を『時を越えて天領の魅力をつなぎ隊』と改め、大滝裕久会長をはじめ天領校区まちづくり協議会のみなさん、天領小学校の坂本智典校長、同小学校PTAの徳永篤会長に実行委員となっていただき、便利なものにあふれた生活に慣れた子どもたちへ、火おこしの技術や昔の生活の知恵などを学んでもらいました。

朝から元気いっぱいの約60人の天領っ子たちは、まず体育館ミーティングルームに集合し、燃料の移り変わりや石炭の活用、生活道具の移り変わり、昔のおやつ“舟焼き”の作り方についてのお話を聞きました。石炭やコークス、練炭、豆炭といった燃料、写真でしか見たことのない木製の洗濯板、さつまいもと小麦粉を練り合わせた昔のおやつ“けえ餅”などの実物を、興味津々と見つめるキラキラした顔がとても印象的でした。

しっかりと話を聞いた後は、いよいよ10班に分かれての火おこし体験です。子どもたちは、一斉に元気よくグラウンドへ飛び出していきました！今回は、約15人の保護者の方にもご参加いただいたのですが、「火おこし」は、実行委員の指導のもと、子どもたちで力を合わせながら試行錯誤することで、いろんなことを感じてほしいため、保護者の方は手を出さずに見守っててください。」とお願いしました。特にお父さんたちは、「あ～っ、手を出した～い！」ともどかしそうでしたが、もくもくの煙にむせながらも、顔を真っ赤にして火ふき竹で吹いたり、うちわで必死に扇いだりして、10班とも自分たちの力で無事に火おこすことができました！

協力してがんばった後は、おなかもぺこぺこになり、めざしや舟焼き、もちを焼いては、おいしそうに頬張っていました。そして最後の片づけまで、班で協力して、しっかりとやってくれました。

今回も、実行委員のみなさまの細やかなところまで行き届いた準備と子どもたちへのあたたかい指導、天領小学校の先生方及び保護者の皆様の多大になる協力とご理解のおかげで、大きな事故やけがもなく、子どもたちの真剣なまなざしと笑顔あふれる学びの多い楽しい体験となりましたこと、心より感謝申し上げます。今後も、地域魅力アップ支援事業を継続し、地域のみなさまのネットワークづくりや魅力あふれる地域づくりにご協力させていただきたいと考えています。どうぞ、よろしく願いいたします。

（三川地区公民館 主事 湯汲智香）



おいしそう！



笑

笑

